

IV

教職免許状・認定心理士・ 各種任用資格などの 取得方法

特別支援学校教諭一種免許状
取得希望の方へ

「特別支援教育支援員」基礎講座修
了証明 取得希望の方へ

認定心理士 取得希望の方へ

福祉心理士 取得希望の方へ

レクリエーション・インストラクター資格

取得希望の方へ

各種任用資格 取得希望の方へ履

修証明プログラムのご案内

平成26年度まで募集をしていた高等学校教諭一種免許状（福祉）取得のための課程は一般の募集を取りやめております。なお、他教科の高等学校教諭一種免許状をお持ちの方で、教育職員免許法6条別表4（教育職員検定）の方法で福祉科免許状の取得希望者は、通信教育型学習方法で取得できる可能性がありますので、平成27年3月以降にお問い合わせください。

特別支援学校教諭一種免許状 取得希望の方へ

本学では、旧養護学校の教職免許と同等の「知的障害者、肢体不自由者及び病弱者に関する教育の領域を定めた特別支援学校教諭一種免許状」および「聴覚障害者に関する教育の領域を定めた特別支援学校教諭一種免許状」が取得できます。この改正にともない、特別支援学校教諭免許状取得を目指す方は下記のカリキュラム（新法）で取得してください。

本学の事情により、特別支援学校教諭一種免許状の取得のためのご入学や実習受講は、下記の制限があります。

- ① 平成27・28年度は、短期大学または大学卒業以上で、小学校、中学校、高等学校、または幼稚園の教職免許状の所持者（または取得見込が確実な方）で、3年次編入学または科目等履修生としてご入学する場合のみ可能です。
- ② 実習事前指導・実習をはじめ下記の科目は、平成29年度までに単位修得を終えてください。

1 特別支援学校教諭一種免許状に関する科目（新法）

| 免許法施行規則に定める科目区分 | 単位 | 本学の科目名 | 単位 | 配当年次 | 中心となる領域 | 含む領域 | 履修方法 | 平成27年度スクーリング開講予定 |
|-----------------------------------|--|--|----|-------|-----------------------------|--------|---------|----------------------|
| 特別支援教育の基礎理論に関する科目 | | ◎障害者教育総論 | 2 | 2年以上 | | | R or SR | 6/13・14 |
| 特別支援教育領域に関する科目 | ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 | ◎知的障害者の心理 | 2 | 3年以上 | 知的障害者 | | R or SR | オンデマンド |
| | | ◎知的障害者の生理・病理 | 2 | 3年以上 | 知的障害者 | | R | — |
| | | ◎肢体不自由者の心理、生理・病理 | 2 | 3年以上 | 肢体不自由者 | | R | — |
| | | ◎病弱者の心理、生理・病理 | 2 | 3年以上 | 病弱者 | | R | — |
| | | ○聴覚障害者の心理 | 2 | 3年以上 | 聴覚障害者 | | R | — |
| | | ○聴覚障害者の生理・病理 | 2 | 3年以上 | 聴覚障害者 | | R | — |
| | | ◎知的障害教育 | 4 | 2年以上 | 知的障害者 | 肢体不自由者 | R or SR | 8/3～5 |
| (第2欄) | ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 | ◎肢体不自由教育 | 2 | 2年以上 | 肢体不自由者 | 知的障害者 | R or SR | H28 3/28-29 |
| | | ◎病弱教育 | 2 | 2年以上 | 病弱者 | | R | — |
| | | ○聴覚障害教育 | 4 | 2年以上 | 聴覚障害者 | | R or SR | H28年度開講 |
| | | 病弱教育総論 | 2 | 3年以上 | 病弱者 | | R | — |
| 免許法に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目 | ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 | ◎重複障害教育総論 | 2 | 3年以上 | 重複・LD等領域(重複・言語) | | R or SR | 7/30・31 |
| | | 発達障害者の心理 | 2 | 3年以上 | 重複・LD等領域(言・情・L・A) | | R or SR | 8/29・30 |
| | | ◎発達障害教育総論 | 2 | 3年以上 | 重複・LD等領域(言語・情緒(LD・ADHD)) | | R or SR | 10/3・4 |
| | | 自閉症教育総論 | 2 | 3年以上 | 重複・LD等領域(重複・情緒) | | R or SR | 9/12・13 |
| | | △言語障害教育 (注：平成26年度までの「コミュニケーション障害教育」と同一内容) | 2 | 3年以上 | 重複・LD等領域(重複・言語・情緒(LD・ADHD)) | 聴覚障害者 | R | — |
| (第3欄) | | ◎視覚障害教育総論 | 2 | 2年以上 | 視覚障害者 | 知的障害者 | R or SR | 12月ごろ |
| 心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習 | (第4欄) | ◎障害者教育実習の事前・事後指導 | 1 | 3年以上 | 次ページ「履修上の特例」1)に該当する方は履修不要 | | SR(特例R) | 8/1・2 H28 3/26・27 |
| | | ◎障害者教育実習 | 2 | 3年以上* | | | 実習科目 | — |

(注) ※「障害者教育実習の事前指導」以外のスクーリング受講は必須ではありません。また、「障害者教育実習の事前指導」スクーリングも次ページ「履修上の特例」2)に該当すれば免除となる可能性があります。

※「事前指導」以外のスクーリング予定は変更される場合があります。開講地は仙台です。

*「障害者教育実習」の受講は短期大学卒業の方は4年次となります。

2 特別支援学校教諭一種免許状の取得方法

特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者，肢体不自由者，病弱者，聴覚障害者）を取得するためには，下記の条件が必要です（平成19年改正教育職員免許法5条別表1）。

- (1) 学士の学位を有すること，および小学校，中学校，高等学校または幼稚園の教諭の普通免許状（一種でも二種でも可）を有すること。
 - (2) 大学において特別支援教育に関する科目を26単位以上修得すること。ただし，本学では下記のような履修が必要です。
 - ① 旧養護学校免許状にあたる「知的障害者，肢体不自由者，病弱者」の3つの領域の免許状を取得希望の方は，前ページの表に◎と△のついた14科目29単位の修得が必要です。
 - ② 旧養護学校・聾学校免許状にあたる「知的障害者，肢体不自由者，病弱者，聴覚障害者」の4つの領域の免許状を取得希望の方は，前ページの表に◎と○のついた16科目35単位の修得が必要です。
- ①②以外の領域の免許状の取得を希望する場合は，書面で通信教育部までお問い合わせください。

【履修上の特例】

- 1) 特別支援学校の教員として3年以上良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有する方→「障害者教育実習の事前・事後指導」「障害者教育実習」の2科目3単位の履修は免除されます（上記(2)に記載の必要単位数は①3領域の場合26単位，②4領域の場合32単位になります）。

※ご自身が3年以上の実務経験があり実習免除に該当するかどうかにつきましては，大学では判断ができませんので，勤務地の都道府県教育委員会にお問い合わせください（教育職員免許法施行規則7条表備考4）。

- 2) 特別支援学校の教員として3カ月以上良好な成績で勤務した旨の証明を有する方→入学後に課されるレポート（自身が作成した正式な指導案を含む）で特別支援学校について理解していると認められれば「障害者教育実習の事前指導スクーリング」の受講は免除になります（スクーリングが免除になるだけで，「障害者教育実習の事前・事後指導」の履修登録・レポート提出・単位修得や「障害者教育実習」の受講・単位修得は必要です）。実習開始希望時期ごとに次項3-2)①②の学習進捗も必要になります。

※3カ月以上の実務経験に関する証明書と別途課される指導案を含むレポートによって，大学が判断します。
※なお，「視覚障害者に関する教育の領域」のみの実務経験では免除の対象とはなりません。

3 障害者教育実習

本学の事情により，実習事前指導・実習受講希望者は平成29年度までに受講を終えていただきますので，ご了承ください。

新法のカリキュラムで障害者教育実習を受講するためには，下記の条件を満たすことが必要です。入学後の学習計画の参考にしてください。なお，1年間で29～35単位を修得することも可能ですが，計画的に学習を進めていくことが必要となりますので，ご注意ください。

- 1) 実習の事前指導スクーリングの申込締切日（スクーリングの約1カ月前）までに，
 - ① 特別支援学校教諭一種免許状の科目のうち「障害者教育総論」「知的障害教育」の2科目を含む合計6科目分のレポートを提出し，
 - ② 上記6科目のうち4科目は事前指導スクーリング直後の受験・受講期限（p.78の表記載）までに科目修了試験またはスクーリングを受けている方。

2) (基礎となる教職免許状を取得見込の方のみ) 基礎となる教職免許状修得のための教育実習を「実習事前指導」のスクーリング受講申込締切日までに終えている方。

3) 「障害者教育実習の事前指導」のスクーリングを受講している方。

平成27年度は下記での開講を予定しています(1日め10:50~18:20 2日め8:50~16:00を予定)。

| 事前指導スクーリング 申込締切日 | 事前指導スクーリング 開講日 | 4科目の試験受験・ スクーリング受講期限 | 実習開始時期 |
|---------------------|--------------------------|-------------------------|-----------------------|
| H27.7/9 H28.2/25 | H27.8/1・2 H28.3/26・27 | H27.8/10 H28.3月末 | H27.10月以降 H28.5月以降 |

4) 実習受け入れ校を各自で確保できる方。実習は、特別支援学校で連続2週間(10日間)行うことが必要です。なお、特別支援学校に勤務されている方は、勤務校での実習は認めておりません。また、**実習受け入れ校に内諾をとるための大学からの依頼状発行**は特別支援学校教諭一種免許状の科目のうち**4科目分の単位修得後にのみ**可能となります。

実習先の特別支援学校はご自身でさがしていただきます。とくに4月入学の場合、地域によっては入学後に年度内に実習のできる特別支援学校をさがすことが困難な場合もあります(北海道・仙台市近郊・東京都・新潟県・愛知県・兵庫県・北九州市など 下記も参照)ので、ご了承ください。

5) 卒業後(将来)、特別支援学校教員として就職する意思が明確な方。本学で「精神保健福祉援助実習」を受講される方の「障害者教育実習」受講は原則としてお断りしております。

6) 健康で通常の業務に耐え、伝染性疾患のない方。

7) 事前指導後に課される「指導案」のレポートに合格すること(WordかExcelで作成)が必要です。聾学校で実習を希望する方は基礎的な手話ができることが原則です。

8) 育児休業中の実習受講は大学として原則としてお認めしておりません。

■特別な手続きを必要とする地域の実習受入れについて

●北海道・東京都・広島県・川西市・神戸市公立学校での28年度教育実習希望の方

北海道・東京都・広島県・川西市・神戸市公立学校での平成28年度・特別支援学校の教育実習受講希望者は、前年度依頼が必要なために、ご出願後至急遅くとも平成27年9月15日(ただし北海道は7月5日)までに通信教育部まで書面(郵送・FAX)で下記事項をお知らせください。

- ①氏名 ②住所・電話番号・(あれば)メールアドレス ③所持している基礎免許(幼・小・中・高や教科・種別)
- ④実習希望の学校での主たる領域(知的障害・肢体不自由・病弱・聴覚障害) ⑤実習希望校・希望地域
- ⑥学校に通うために、特に配慮が必要な事項(特別な事情がある場合の方のみ)
- ⑦実習希望時期(28年度5~7月か、10月以降か)とそのための学習計画

締切までにご連絡のあった方でも、28年度実習受入れが難しい場合もありますので、ご了承ください。なお、28年度配属実習を受講する場合は28年3/26・27までの事前指導スクーリングを受講することが必要です。また、東京都公立学校での実習を希望できるのは、1)高等学校卒業時まで東京都内在住の方、かつ2)東京都公立学校採用候補者選考試験を受験予定の方など申込みにあたって条件があります。

また、上記地域での締切後の平成28年度実習校確保は非常に困難です。

●仙台市近郊・下記7つの特別支援学校での28年度教育実習希望の方

- ・光明支援学校 ・利府支援学校 ・鶴谷特別支援学校
- ・聴覚支援学校 ・船岡支援学校 ・名取支援学校 ・いずみ高等支援学校

宮城県内で28年度に上記7つの特別支援学校での教育実習を希望する方にも、平成27年7月10日をめぐりに上記①~⑦のご連絡をお願いいたします。なお、上記学校への個人での実習依頼は禁止しております。27年度の実習受入れや上記締切後の28年度の実習受入れは非常に厳しい状況ですが、希望者は通信教育部・教職免許係にご連絡ください。なお、28年度配属実習を受講する場合は28年3/26・27までの事前指導スクーリングを受講することが必要です。また、仙台市内他大学付属の特別支援学校での受け入れはありません。

4 教育職員免許法第6条別表第7の取得方法

(1) 幼・小・中・高等学校の普通免許状を所持しており、**幼・小・中・高等学校における教員としての実務経験***が**3年以上ある方が**、特別支援学校教諭の二種免許状を取得する場合

(2) 特別支援学校教諭二種免許状を所持しており、**特別支援学校における教員としての実務経験***が**3年以上ある方が**、特別支援学校教諭の一種免許状を取得する場合

上記(1)(2)の場合、履修すべき科目は「6条別表7による免許申請」と申し出て、免許状を申請する各都道府県教育委員会に指導を受けてください。法規上の必要単位は6単位ですが、領域を幅広く取得する必要があります、24単位**ほどの履修が必要ではないかと考えられます（実習受講は不要）。

※ご自身が3年以上の実務経験を有するかにつきましても、大学では判断ができませんので、勤務地の都道府県教育委員会にお問い合わせください。

※※ p.76の表の◎・△のついた科目から「病弱者の心理、生理・病理」「病弱教育」「障害者教育実習の事前事後指導」「障害者教育実習」を除き「病弱教育総論」を履修すると24単位（「病弱」と「肢体不自由」の領域のみの二種免許状を取得する場合は、「知的障害者の心理」「知的障害者の生理・病理」「知的障害教育」の履修が不要になる場合もありますが、大学では推奨しておらず、都道府県教育委員会に必ず確認してください）。

5 すでに旧法で定める盲学校、聾学校、養護学校教諭のいずれかの一種免許状所持者が別の領域の特別支援学校教諭一種免許状を取得する場合の履修方法

1) 旧・養護学校一種免許状、または知的障害、肢体不自由、病弱の領域の特別支援学校教諭一種免許状を所持している方が「聴覚障害者」の領域を追加する場合

「聴覚障害者の心理」「聴覚障害者の生理・病理」「聴覚障害教育」の3科目8単位の修得が必要です。

2) 旧・聾学校一種免許状、または聴覚障害の領域の特別支援学校教諭一種免許状を所持している方が「知的障害者」の領域を追加する場合

「知的障害者の心理」「知的障害者の生理・病理」「知的障害教育」の3科目8単位の修得が必要です。

3) 旧・盲学校免許状、または視覚障害の領域の特別支援学校教諭一種免許状を所持している方が「知的障害者」「病弱者」の領域を追加する場合

「知的障害者の心理」「知的障害者の生理・病理」「知的障害教育」「病弱者の心理、生理・病理」「病弱教育」の5科目12単位の修得が必要です。

6 短期大学既卒で特別支援学校教諭の二種免許状を取得する場合

本学通信教育部は、文部科学省から一種免許状を取得する課程として認定を受けているため、二種免許状を希望する場合は免許状を申請する都道府県教育委員会の指導を受けてください。一般にはp.77 2 (2)①または②の29~35単位を修得し、短期大学卒業の方は二種免許状の取得は可能と考えられます。ただし、短期大学卒業の方が3年次編入学した場合、p.76の*に記載のとおり3年次に「障害者教育実習」を受講することはできません。

7 特別支援学校教諭免許状 取得のための学費

四年制大学既卒で、すでに幼・小・中・高校いずれかの基礎免許状を所持している方が、特別支援学校教諭一種免許状を取得する場合の学費は、以下のとおりです。

1年で取得する場合は、正科生3年次編入学の方が学費を低くおさえられます。また、2年計画で受講する場合も、科目等履修生では1年めに履修登録を行った科目の単位修得ができないと、翌年度に再度同一科目の授業料が必要で、学習期間の制約（p.36参照）もありますので、**正科生3年次編入学をおすすめしています。**

| | | | | | |
|---------------------------------------|--|---|--|---|---|
| 正科生 3年次編入学 1年で取得 | 合計 200,000円 | = | 入学選考料 10,000円 入学金 30,000円 | + | 正科生授業料【1年分】 120,000円 |
| 正科生 3年次編入学 2年で取得 (注3) | 合計 320,000円 | = | 実習事前指導 スクーリング費 (注1)(注2) 10,000円 | + | 正科生授業料【2年分】 1年め 120,000円 2年め 120,000円 合計 240,000円 |
| 科目等履修生 1～2年で 取得 | 合計(注4) 29単位履修 254,000円 35単位履修 290,000円 | = | 実習費 (注2) 30,000円 (合計80,000円) | + | 科目等履修生授業料 (注4) 【1～2年分】 29単位履修 174,000円 35単位履修 210,000円 |

(注1) 特別支援学校の教員として3カ月以上勤務した旨の証明を有する方で、入学後に課されるレポートで事前指導スクーリングが免除になる方は不要です（p.77「履修上の特例」2）を参照）。

(注2) 実習を受講しない方は不要です。

(注3) 短期大学卒業の方が一種免許状を取得する場合など、卒業のためのスクーリング単位などが必要な方は、別途スクーリング受講料が必要です。

(注4) 1年めに14単位、2年めに15単位など分けて履修登録を行い、その年に単位修得した場合の金額となります。科目等履修生として入学すると、1年めに履修登録を行った科目の単位修得ができない場合、翌年度に再度同一科目の授業料が必要です。なお、科目等履修生の授業料は1単位あたり6,000円となります。

8 特別支援学校教諭免許状取得に関するよくあるお問い合わせ

Q20 四年制大学既卒ですすでに教職免許状を所持しており、特別支援学校教諭免許状の取得を希望しています。スクーリングは必須でしょうか。

A. 実習前に「障害者教育実習の事前指導」スクーリング1科目2日間のみ必須です。平成27年度は8/1・2またはH28.3/26・27に仙台で行われます。なお、p.77「履修上の特例」1) 2) に該当する方は事前指導スクーリング受講も不要です。「事後指導」はレポートのみで、スクーリング受講の必要はありません。また、それ以外の科目は、レポート+科目修了試験（履修方法：R）で単位を修得することができます。

Q21 四年制大学既卒ですすでに教職免許状を所持している場合、特別支援学校教諭免許状の取得は1年でできますか。また、教員になっておられる方はいらっしゃいますか。

A. 障害者教育実習事前指導スクーリングまでの受講条件を満たし、実習を入学1年めに行い、他の科

目も学習を計画的に進めていけば、1年間での取得は可能です。また、1年半～2年かけて取得されている方もいらっしゃいます。

また、通信教育部の場合、進路の報告は任意となっておりますが、毎年、北海道・岩手・茨城・千葉・埼玉・東京・神奈川などの学生の方から教員採用試験2次試験に合格したというご報告をいただいております。

1年で履修するための学習計画例（四年制大学既卒ですでに教職免許状を持っている場合）

※各月の科目修了試験を受験するためには、受験申込締切日必着で①受験する科目のレポートすべて、②試験申込ハガキを提出することが必要です（p.55～56参照）。

※各月の科目修了試験で1会場、4科目まで受験が可能です。自身の学習計画と進行具合で試験を受けていきます。毎回試験を受ける必要はありません。

※一部科目はp.56記載の在宅web科目修了試験を利用することも可能です。

※2月の試験で単位修得に至っても3月末までに単位修得証明書の発行をお約束することはできかねます。

●4月生のスケジュール案＝科目修了試験は毎回受ける必要はありません

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------------------------|--|--|---|--|---|--|-----|---|---|----|---|
| 入学・教科書到着・学習開始 | 5/9 or 10 第1回科目修了試験 4/22 レポート提出・申込締切 | 6/20 or 21 第2回科目修了試験 6/3 レポート提出・申込締切 | 7/9 事前指導スクーリング申込締切 7/8 レポート提出・申込締切 6科目のレポート提出期限 「障害者教育総論」などのスクーリング受講（受講は任意） | 8/1・2 事前指導スクーリング 8/2 第3回科目修了試験 「知的障害教育」「重複障害教育総論」などのスクーリング受講（受講は任意） | 9/5 or 6 第4回科目修了試験 8/19 レポート提出・申込締切 | 10/24 or 25 第5回科目修了試験 10/7 レポート提出・申込締切 | 11月 | 12/5 or 6 第6回科目修了試験 11/18 レポート提出・申込締切 「聴覚障害教育」などのスクーリング受講（受講は任意） | 1/9 or 10 or 11 第7回科目修了試験 12/18 レポート提出・申込締切 | 2月 | 3月 2/27 or 28 第8回科目修了試験（予備） 2/9 レポート提出・申込締切 「学力に関する証明書」発行申請・ 都道府県教委への免許状個人申請…… |
| ← 実習期間(2週間) → | | | | | | | | | | | |
| 一部科目は在宅 web 科目修了試験の利用可 | | | | | | | | | | | |

●10月生のスケジュール案＝科目修了試験は毎回受ける必要はありません

| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|------------------------|--|---|---|--|--------------------------------------|--|------------------|------------------|---------------------------------|----|---|
| 入学・教科書到着・学習開始 | 10/24 or 25 第5回科目修了試験 10/7 レポート提出・申込締切 | 12/5 or 6 第6回科目修了試験 11/18 レポート提出・申込締切 | 1/9 or 10 or 11 第7回科目修了試験 12/18 レポート提出・申込締切 | 2/27 or 28 第8回科目修了試験 2/9 レポート提出・申込締切 | 2月末 事前指導スクーリング申込締切日(6科目のレポート提出期限) | 3/26・27 事前指導スクーリング(仙台) 「肢体不自由教育」などのスクーリング受講（受講は任意） | 5月ごろ 科目修了試験受験 | 6月ごろ 科目修了試験受験 | 7月 科目修了試験受験・スクーリング受講 (任意) | 8月 | 9月 9月上旬 科目修了試験受験（予備） 「学力に関する証明書」発行・免許状個人申請 |
| ← 実習期間(2週間) → | | | | | | | | | | | |
| 一部科目は在宅 web 科目修了試験の利用可 | | | | | | | | | | | |

「特別支援教育支援員」基礎講座修了証明(本学認定)取得希望の方へ

小・中学校において発達障害のある児童生徒に対する学習活動上のサポート、日常生活上の介助や健康・安全確保、まわりの児童生徒に対する障害理解の促進などを行う「特別支援教育支援員」に注目が集まっています（くわしくは文部科学省ホームページ参照）。

本学では平成19年度より「特別支援教育支援員の養成プログラム」を開発・実施していますが、23年度より通信教育の方法で、基礎講座を開講し、基礎講座修了証明書を発行しております（東北福祉大学認定）。支援員は自治体によっては「指導補助員」「介助員」「学習支援員」等の名称で呼ばれ、多くの場合非正規雇用ですが、その応募の際に「特別支援教育支援員基礎講座修了（東北福祉大学）」と履歴書に書いていただくことが可能です。

現在「特別支援教育支援員」に携わっている方も、これから「支援員」をめざす方にも適したカリキュラム内容となっております。

修了の方法

正科生または科目等履修生として、別表1のとおり**必修科目**「特別支援教育支援員概論」(**スクーリング必須科目** 平成27年度は5/30・31, 28年度は5～6月ごろの土日に開講), 「知的障害教育」, 「肢体不自由教育」, 「発達障害者の心理」の**4科目10単位**, 「言語障害教育」, 「病弱教育」, 「聴覚障害教育」, 「聴覚障害者の心理」, 「自閉症教育総論」, 「視覚障害教育総論」, 「教育心理学」のなかから**1科目2単位以上選択**, **合計5科目12単位以上**の修得後、通信教育部に申請をすれば「修了証明書」を発行します。

修了証明にあたって大学卒業や教職免許状は不要ですが、「特別支援教育支援員」応募・採用にあたっては大学卒業や教職免許状が求められることもあります。

【別表1】 「特別支援教育支援員」基礎講座修了証明(本学認定)のための履修科目

| 本学の科目名 | 配当年次 | 単位 | 履修方法 | 本学での履修方法 | |
|-------------|------|----|---------|--------------------|-------------------------------|
| 特別支援教育支援員概論 | 2年以上 | 2 | SR | 4科目 10単位 必修 | スクーリング必修 H27年度は5/30・31開講予定 |
| 知的障害教育 | 2年以上 | 4 | R or SR | | |
| 肢体不自由教育 | 2年以上 | 2 | R or SR | | |
| 発達障害者の心理 | 3年以上 | 2 | R or SR | | |
| 言語障害教育 | 3年以上 | 2 | R | 1科目 2単位以上 必修 | H27年度はスクーリング開講なし |
| 病弱教育 | 2年以上 | 2 | R | | |
| 聴覚障害教育 | 2年以上 | 4 | R or SR | | |
| 聴覚障害者の心理 | 3年以上 | 2 | R | | |
| 自閉症教育総論 | 3年以上 | 2 | R or SR | | |
| 視覚障害教育総論 | 2年以上 | 2 | R or SR | | |
| 教育心理学 | 2年以上 | 2 | R or SR | | |

認定心理士 取得希望の方へ

●認定心理士とは

大学において心理学を学び、「心理学の専門家として仕事をするために必要な、最小限の標準的基礎学力と技能を修得している」ことを「日本心理学会」が認定する資格です。申請にあたっては、日本心理学会が定める審査料・認定料計40,000円の費用がかかります。

●申請の条件と履修方法

- ・認定心理士は、本学福祉心理学科、または社会福祉学科で別表2の条件を満たして単位修得し、卒業することで取得できます。卒業後、ご自身で日本心理学会に申請していただくことが必要です。
- ・ただし、社会福祉学科で取得する場合は「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」をはじめ卒業要件に含めることのできない科目があります。そのため、卒業に必要な単位数が増えます。

【別表2】 認定心理士資格に関する科目（科目名太字は本学福祉心理学科卒業のための必修科目）

| 科目 | 領域 | 本学の科目名 | 福祉心理学科 配当年次 | 単位数 | 平成27年度 スクーリング開講予定地 | 本学での履修方法 (総計36単位以上修得) |
|---------------|----------------|---------------|----------------|----------------------|-----------------------|--|
| 基礎科目 | a 心理学概論 | 心理学概論 | 1年以上 | 4 | 仙台 札幌 PC | 5科目12単位必修 (28年度：東京 29年度：札幌) |
| | b 心理学研究法 | 心理学研究法Ⅰ | 2年以上 | 2 | 仙台 新潟 PC | |
| | | 心理学研究法Ⅱ | 2年以上 | 2 | 仙台 | |
| | c 心理学実験・実習 | 心理学実験Ⅰ | 1年以上 | 2 | 仙台 新潟 | |
| 心理学実験Ⅱ | | 1年以上 | 2 | 仙台 東京 | | |
| 選択科目 | d 知覚心理学・学習心理学 | 学習心理学 | 2年以上 | 2 | 仙台 PC | d, f, g, hの4領域中 3領域が各4単位以上で、 かつ、4領域の小計が24単 位以上修得のこと f, gの領域は福祉心理 学科を卒業すれば各4単 位以上を満たします。 d, hの領域のいずれか で4単位以上になるよう な単位修得が必要になり ます ※a～iの総計36単位以上 修得のこと。基礎科目12 単位と選択科目16単位以 外の残り8単位は、a～ hの任意の科目、または 「その他」の科目で充当 すること。 |
| | | 認知心理学 | 2年以上 | 4 | 新潟 PC | |
| | e 生理心理学・比較心理学 | — | — | — | — | |
| | | f 教育心理学・発達心理学 | 生涯発達心理学 | 1年以上 | 4 | |
| | 教育心理学 | | 1年以上 | 2 | 仙台 | |
| | 児童青年心理学 | | 1年以上 | 4 | 仙台 | |
| | 老年心理学 | | 1年以上 | 4 | 仙台 新潟 PC | |
| | 障害児の心理 | | 2年以上 | 4 | 仙台 PC | |
| | g 臨床心理学・人格心理学 | 臨床心理学 | 2年以上 | 4 | 仙台 東京 新潟 | |
| | | 人格心理学 | 1年以上 | 4 | PC | |
| | | 心理アセスメント | 1年以上 | 2 | 仙台 新潟 PC | |
| | | 心理療法 | 2年以上 | 4 | 仙台 札幌 | |
| | | 精神保健学 | 2年以上 | (2) | — | |
| | | カウンセリングⅠ | 1年以上 | 1 | 仙台 東京 | |
| h 社会心理学・産業心理学 | カウンセリングⅡ | 1年以上 | 1 | 仙台 | | |
| | 福祉心理学 | 1年以上 | 2 | 仙台 札幌 東京 青森 新潟 PC | | |
| | 環境心理学 | 2年以上 | 2 | 仙台 | | |
| | 社会心理学 | 1年以上 | 2 | 札幌 東京 PC | | |
| その他 | i 心理学関連科目・卒業論文 | 卒業研究 | 4年 | (4) | — | 必修ではない |
| | | 家族心理学 | 1年以上 | 2 | 仙台 | |
| | | 人間関係論 | 1年以上 | 1 | 仙台 PC | |

※本学では「卒業研究」は8単位ですが、認定心理士認定委員会では4単位と認定するため、4単位と表記しています。「精神保健学」も本学では4単位ですが、認定心理士の申請には2単位分のみ認められます。

※平成27年度スクーリング開講予定地には、通常のスクーリング以外にビデオ・スクーリングによる開講予定を含みます。PC＝自宅のパソコンで受講できるオンデマンド型スクーリング開講科目です。

※四年制大学既卒の方は、3年次編入学または科目等履修生として入学し、上表の条件を満たせば、本学通信教育部を卒業しなくても認定心理士の取得は可能と思われます。ただし、自身の責任において、日本心理学会のホームページなどで、再度条件を確認のうえ履修すべき科目の選択や資格申請を行っていただきます。

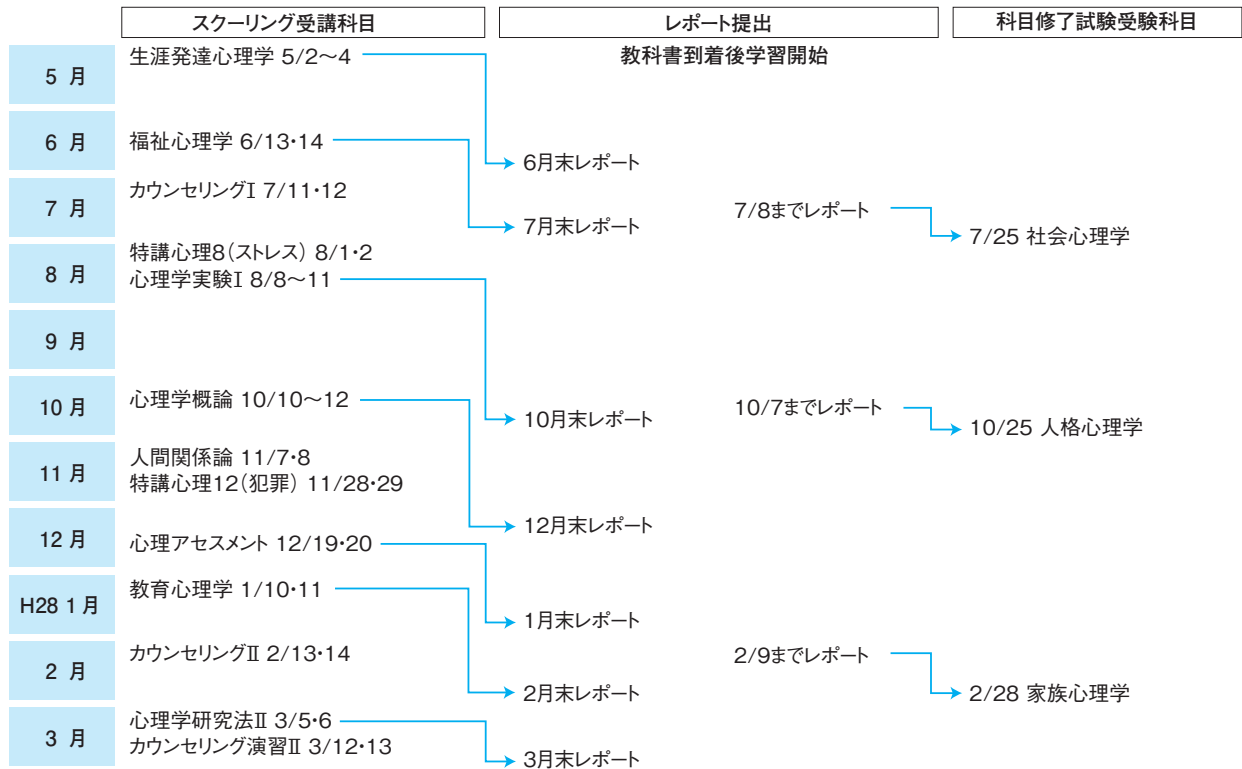
※科目等履修生として出願する場合、「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」など履修方法が「SR」「S」の科目は入学後決められた時期に追加履修登録を行うことで履修が可能です（授業料、スクーリング受講料、ならびに別途手数料1,000円が必要です）。

※「心理学研究法Ⅰ・Ⅱ」スクーリング受講のためには、受講申込締切日までに心理学関連科目から7科目のレポート提出が必要です。

Q22 認定心理士の取得を目指しています。3年次編入学して、2年間で福祉心理学科を卒業するためのモデルプランを教えてください。

A. 入学1年めの履修科目を(1)心理学概論, (2)福祉心理学, (3)社会心理学, (4)心理学実験Ⅰ, (5)教育心理学, (6)家族心理学, (7)人格心理学, (8)生涯発達心理学, (9)心理アセスメント, (10)心理学研究法Ⅱ, (11)特講・福祉心理学8(ストレスとつきあう心理学), (12)特講・福祉心理学12(犯罪心理学), (13)人間関係論, (14)カウンセリングⅠ, (15)カウンセリングⅡ, (16)カウンセリング演習Ⅱの32単位とした場合は、次図のような例が考えられます(スクーリングを仙台で受講する場合)。

●福祉心理学科3年次編入学者1年めの学習計画例(4月生・仙台でスクーリングを受講する場合の一例)



上記はあくまで一例です。この例ですと1年めにスクーリング単位15単位が修得できますが、卒業までに最低限スクーリング単位を15単位修得いただければ結構です。

残りの28単位分(スクーリング単位は2単位分)は4年生で履修します。なお、2年で卒業する場合に「卒業研究」(卒業論文の執筆)の履修は難しくなります(p.35参照)。

Q23 心理学を勉強したいのですが、仙台に足を運ぶことが難しいです。卒業は可能ですか。

A. 福祉心理学科を卒業するにあたって、「心理学実験Ⅰ」「実験Ⅱ」のいずれか1科目の会場スクーリングを受講する必要がありますが、「実験Ⅰ」は27年度：新潟, 28年度：東京, 29年度：札幌, 「実験Ⅱ」は27年度：東京で開講予定です。また、「心理学概論」「カウンセリングⅠ」「臨床心理学」「心理療法」など一部の科目は札幌や東京でも開講される年度があります。また、「心理学研究法Ⅰ」「福祉心理学」「生涯発達心理学」や一部の特講科目などp.57の科目は在宅で受講できるオンデマンド・スクーリングを開講しています。

そのため、3年次編入学者は東京または札幌で開講されるスクーリングとオンデマンド・スクーリングを併用すれば、仙台に来ることなく卒業に必要な15単位のスクーリング単位を修得できます。1年次入学者も、社会福祉系科目のスクーリングを併用すれば、仙台に来ることなく卒業に必要な30単位のスクーリング単位を修得できます。

なお、認定心理士取得希望者は「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」「心理学研究法Ⅰ・Ⅱ」の4科目の単位修得が必修になります。「心理学研究法Ⅱ」(2日間)のスクーリングだけは仙台での受講が必須となります。

福祉心理士 取得希望の方へ

●福祉心理士とは

日本福祉心理学会が認定する資格であり、福祉サービスを利用する人のアセスメントを行ったり、サービス利用者やその家族、そして、そこで働く職員の福祉心理相談・支援を行ったりするうえで専門家として求められる基礎学力と技能を修得していると、日本福祉心理学会が認定した方のことです。認定の際、日本福祉心理学会がおこなう筆記試験が実施される予定で審査料20,000円、認定料10,000円も必要です。また、日本福祉心理学会員となり5年ごとに資格更新のための審査を受ける必要があります。

●申請の条件と類型

大学で取得する際は、一般的には下記A類型で指定科目を履修する方法が一般的ですが、社会福祉施設等での実務経験を3年以上有している場合はB類型での取得も可能です。

【A類型】 大学で指定科目を別表3の履修方法に従って**合計32単位以上を修得**し、卒業（社会福祉学科でも福祉心理学科でも可）した方。ただし、指定科目の一部が未履修の場合、科目等履修生としての単位修得も可です。

【B類型】 申請時において、すでに**社会福祉施設等での実務経験を3年以上有しており**、大学（または日本福祉心理学会が開催する研修会）で、①「心理学」、②「福祉心理学」もしくは「臨床心理学」、③「社会福祉学」、④「心理査定法」、⑤「カウンセリング（心理相談）」もしくは「心理療法」、⑥「発達心理」もしくは「児童心理」もしくは「障害者の心理」もしくは「高齢者の心理」、⑦「社会福祉援助技術」の必修指定科目7科目について各2単位以上を修得した方。

【別表3】日本福祉心理学会認定 福祉心理士に関する科目（本学の科目名太字は本学福祉心理学科必修科目）

| 領域 | 指定科目名 | 本学の科目名 | 単位数 | 履修方法（合計32単位以上修得） |
|------------|----------------------------------|----------------|-----|--|
| 基礎科目 | 心理学 | 心理学概論 | 4 | 2科目合計6単位以上を単位修得のこと |
| | 福祉心理学 | 福祉心理学 | 2 | |
| | 社会福祉学 | 社会福祉原論 | 4 | |
| 心理学関係科目 | 臨床心理学 | 臨床心理学 | 4 | 4科目以上履修し、合計12単位以上を単位修得のこと |
| | 心理査定法 | 心理アセスメント | 2 | |
| | カウンセリング（心理相談） | カウンセリングⅠ | 1 | |
| | | カウンセリングⅡ | 1 | |
| | 心理療法 | 心理療法 | 4 | |
| | 発達心理 | 生涯発達心理学 | 4 | |
| | 児童心理 | 児童青年心理学 | 4 | |
| | 障害者の心理 | 障害児の心理 | 4 | |
| | 高齢者の心理 | 老年心理学 | 4 | |
| 社会福祉学関係科目 | 相談援助（社会福祉援助技術） もしくは精神保健福祉援助技術 | 精神保健福祉援助技術総論Ⅰ | 2 | 「相談援助」もしくは「精神保健福祉援助技術」の2単位以上を含み、合計12単位以上を単位修得のこと |
| | | 社会福祉援助技術総論 | 4 | |
| | | 精神保健福祉の理論 | 2 | |
| | | 精神保健福祉のサービス | 2 | |
| | | 精神保健福祉援助技術各論 | 2 | |
| | | 児童・家庭福祉論 | 4 | |
| | | 高齢者福祉論 | 2 | |
| | | 障害者福祉論 | 4 | |
| | | 知的障害者福祉論 | 2 | |
| | | 社会福祉援助技術論A | 2 | |
| 社会福祉援助技術論B | 2 | | | |
| 医療保健関係科目 | 精神医学 | 精神医学 | 4 | 履修する必要はないが、履修した場合の扱いは*参照 |
| | リハビリテーション学 | リハビリテーション論 | 2 | |
| | 精神保健学 | 精神保健学 | 4 | |

合計32単位以上修得のこと

*心理学関係科目のうち2科目4単位、および社会福祉関係科目のうち2科目4単位の計4科目8単位については、医療・保健関係科目（精神医学、リハビリテーション学、精神保健学）をもって代替できる。

レクリエーション・インストラクター資格 取得希望の方へ

●レクリエーション・インストラクターとは

公益財団法人日本レクリエーション協会制定の公認指導者資格です。さまざまな遊びのメニューと、技術を持ち、楽しさの体験を多くの人に提供していきます。

人と人との交流促進や、楽しさの体験に主眼をおいた技術指導や継続的に楽しむクラブ・教室・「市民サービス型事業」の企画・運営・実施を具体的に進める指導者です。

活動の場は幼児保育、学校教育の現場や福祉施設、医療機関、地域のボランティア活動など広がっています。施設職員の方々、将来施設職員をめざす方々にもお勧めいたします。

【別表5】 通信教育部における資格取得のための科目＝■印の科目：29年度まで開催

| 系列 | 本学の科目名 | 配当年次 | 単位 | 履修方法 | 備考 |
|------|--------------|------|----|---------|----------------|
| 理論 | ■レクリエーション概論 | 2年以上 | 2 | R or SR | 27年度スクーリング開講せず |
| 実技 | ■レクリエーション実技 | 3年以上 | 2 | SR | |
| 実習 | △社会福祉援助技術実習 | 4年 | 4 | 実習科目 | |
| | △精神保健福祉援助実習A | 3年以上 | 2 | 実習科目 | |
| | △障害者教育実習 | 3年以上 | 2 | 実習科目 | |
| 事業参加 | ■レクリエーション事業 | 3年以上 | 1 | 実習科目 | |

■＝資格取得にあたっての必修科目（29年度までに受講してください） △印＝実習のなかから1科目選択必修

●資格取得について

- ・この資格取得のためのカリキュラムは「社会福祉士国家試験受験資格」「精神保健福祉士国家試験受験資格」「特別支援学校教諭一種免許状」のためのいずれかの実習を受講して取得した方を対象に、さらに関連する資格をめざすためのものとして位置づけております。
- ・レクリエーション事業は、地域において実施されているレクリエーション支援に関わる事業（指定されたものに限る）に3回以上参加することが必須となります。
- ・資格取得にかかわらず、「レクリエーション概論」「レクリエーション実技」の科目を履修して、関連する知識を学ぶことは可能です。

●資格登録に関わる費用 16,000円（公認料金5,000円，登録料11,000円）

平成26年度の資格登録に関わる費用となります。平成27年度以降変更になる可能性もあります。資格申請手続き希望者へ大学が請求をし、レクリエーション協会へ納入します。合わせて、大学より日本レクリエーション協会へ資格申請手続きを毎年12月ごろ行います。

（注意） 2年毎に更新登録料11,000円が必要となります。日本レクリエーション協会より資格の更新についてご案内がありますので、各自にて手続きを行っていただきます。

各種任用資格 取得希望の方へ

- ・ **社会福祉主事任用資格（注1）、児童指導員任用資格、知的障害者福祉司任用資格、精神保健福祉相談員任用資格**は、本学を卒業することで取得できます。
（注1）福祉心理学科に入学した場合、専門選択科目B群のなかで指定された科目から2～3科目履修しないと社会福祉主事任用資格は取得できません。
- ・ **心理判定員（児童心理司）任用資格**は、本学福祉心理学科を卒業することで取得できます。
- ・ **児童福祉司任用資格**は、本学卒業後厚生労働省の定める施設にて1年間の実務経験後取得が可能です。

参考

- **任用資格とは** 公務員などの採用試験に合格し、専門職として配置されていかすことのできる資格です。福祉医療関係の施設・病院への就職に際し、資格要件として求められる場合があります。
- **社会福祉主事とは** 都道府県、市町村の福祉事務所などに配置され、生活保護法、児童福祉法、母子及び寡婦福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法に定める援護、育成または更生の措置に関する事務をおこないます（社会福祉法 第18・19条）。
- **知的障害者福祉司とは** 都道府県、市町村の福祉事務所や知的障害者更生相談所に配置され、知的障害者の福祉に関する事務をおこないます（知的障害者福祉法 第14条）。
- **児童福祉司とは** 児童相談所に配置され、児童の保護その他児童の福祉に関する事項について、相談に応じ、必要な指導等をおこないます（児童福祉法 第13条）。
- **児童指導員とは** 児童養護施設、知的障害児施設、肢体不自由児施設などに配置され、児童の生活指導をおこないます（児童福祉施設最低基準 第42・43・49・56・61・69・73・75条）。
- **精神保健福祉相談員とは** 都道府県、市町村の精神保健福祉センターや保健所などに配置され、精神保健福祉に関する相談に応じたり、精神障害者やその家族等を訪問して必要な指導をおこないます（精神保健福祉法 第48条）。
「大学で社会福祉に関する科目または心理学の課程を修めて卒業した者であって、精神保健、精神障害者の福祉に関する知識および経験を有する者」が任用資格の条件です。
- **心理判定員・児童心理司とは** 心理判定というのは、児童相談所や精神科の病院などで、主に心理検査や面接を実施し、診断や治療効果測定のための資料を提供する仕事です。明確な資格の規定はありませんが、大学において心理学を専攻した者が心理判定の仕事ができることになっています。具体的には、来談者（クライアント）について、知能検査、人格検査などを行ったり、さらに面接や行動観察を行ったりすることによって、判定会議などへの資料を提供することです。判定会議に出席して意見を述べるだけでなく、時には医師や児童福祉司、ソーシャルワーカーなどとチームを組んで心理治療に当たることもあります。
このような心理判定をする者が必要とされる主な職場には、児童相談所、精神保健福祉センター、婦人相談所、各種福祉施設、病院（精神科・神経科）などがあります。
なお、平成17年度以降、児童相談所に配置され子ども、保護者等の相談に応じたり、心理判定をおこなう「心理判定員」の名称が「児童心理司」に変更されています（「児童相談所運営指針」）。「心理判定員」「児童心理司」任用資格条件は「学校教育法に基づく大学において、心理学を専修する学科を修めて卒業した者」であることに変更はありません（「児童福祉法」第12条の3(4)、「身体障害者更生相談所の設置及び運営について」など）。
なお、これら心理学の専門職につくためには、現状では指定大学院に進学して「臨床心理士」の資格を取得することが一般的になっています。本学・福祉心理学科では、大学院進学のための心理学全般に関する基礎知識を幅広く学ぶことができます。

履修証明プログラム「福祉実践職（高齢者分野）基礎力養成」「福祉実践職（障害者分野）基礎力養成」「カウンセリングの基礎を学ぶ」コース開設のご案内

1 履修証明プログラムとは

大学において、社会人等を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム（履修証明プログラム）を開設し、その修了者に対して学校教育法に基づく履修証明書が交付できることとなっています（詳細は文部科学省のホームページ参照）。

本学では、この制度を活用し、特定の分野について学びたいという意欲はあるが、通信教育部を卒業したり、社会福祉士や精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得したりすることまでは荷が重いと感じている方のために、文部科学省の履修証明プログラムの制度に沿う形でコースを開設し、そのコースを修了した方に対して、「履修証明書」を発行するプログラムをご用意いたしました。

2 平成27年度に通信教育部で開設されるコース

平成27年度に通信教育部で開設されるコースは「福祉実践職（高齢者分野）基礎力養成」「福祉実践職（障害者分野）基礎力養成」「カウンセリングの基礎を学ぶ」です。なお、平成27年度中に履修を終えることが一般的ですが、翌年度以降に継続して履修することも可能とします（翌年度に継続する場合は、規定に従い翌年度の学費の納入が必要です。また、特講科目は翌年度に開講されない科目も多くあります）。

- (1) 各コースの科目表のなかから、履修方法に記載のルールに沿って、スクーリングを90コマ以上受講し、スクーリング試験に合格する必要があります。
- (2) この履修証明のコースのみを希望する方は、スクーリングを90コマ以上受講し、スクーリング試験に合格すれば、レポートを提出する必要はありません。
- (3) 1科目のスクーリングは遅刻・欠席なしで受講する必要があります。

■**募集人員** 各コース50名（定員は目安）

■**出願期間** 平成27年1月5日～4月15日（10月生の募集はありません） 本要項 p.22募集期間・入学時期参照

■**出願資格** 本要項 p.36在籍資格参照（科目等履修生の場合）

■**入学方法** 科目等履修生 または 正科生3年次編入学

※正科生1年次入学者は、2～3年在籍して規程のスクーリングを90コマ以上受講すれば取得可能です。

■「福祉実践職（高齢者分野）基礎力養成」コースの概要

※「社会福祉援助技術総論」「社会福祉原論」のスクーリングを受講し、高齢者分野と障害者分野のコースの両方の履修証明を受ける場合、どちらか一方で利用可、もう1つの履修証明を受ける場合、他の科目で90コマ以上にしてください。

| 授業科目の名称 | コマ数 | 単位数 | 履修方法 (90コマ以上選択) | 科目等履修生 授業料 | スクーリング 受講料 | 仙台スクーリング 日程 | オンデマンド・スクーリング |
|--------------------------|------|-----|--|---------------|---------------|----------------|---------------|
| 高齢者福祉論 | 6コマ | 2 | 36コマ必修※ | 12,000 | 5,000 | 4/25・26 | — |
| 介護概論 | 6コマ | 2 | | 12,000 | 5,000 | 12/12・13 | ◎ |
| ※社会福祉援助技術総論 | 12コマ | 4 | | 24,000 | 10,000 | 5/2～4他 | ◎ |
| ※社会福祉原論（職業指導を含む） | 12コマ | 4 | | 24,000 | 10,000 | 8/8～10 | ◎ |
| ケアマネジメント論 | 8コマ | 4 | 〈選択A〉 58コマ中30コマ以上 選択必修 | 24,000 | 5,000 | 10/24・25 | — |
| 社会保障論 | 12コマ | 4 | | 24,000 | 10,000 | 9/25～27 | ◎ |
| 福祉心理学 | 6コマ | 2 | | 12,000 | 5,000 | 6/13・14他 | ◎ |
| 老年心理学 | 12コマ | 4 | | 24,000 | 10,000 | 8/12～14 | ◎ |
| 特講・社会福祉学1（介護保険と社会福祉士の課題） | 8コマ | 1 | | 6,000 | 7,000 | 6/27・28 | — |
| 特講・社会福祉学15（認知症介護論） | 8コマ | 1 | | 6,000 | 7,000 | 28年度予定 | — |
| 介護技術 | 6コマ | 2 | 〈選択B〉 24コマ選択 (ただし選択Aで31コマ以上履修 した場合は、その分減らして可) | 12,000 | 5,000 | 7/19・20 | — |
| 社会福祉援助技術論A | 6コマ | 2 | | 12,000 | 5,000 | 8/1・2a | ◎ |
| 社会福祉援助技術論B | 6コマ | 2 | | 12,000 | 5,000 | 8/2b・3 | ◎ |
| 保健医療サービス論 | 6コマ | 2 | | 12,000 | 5,000 | 10/10・11a | ◎ |
| 生涯発達心理学 | 12コマ | 4 | | 24,000 | 10,000 | 5/2～4 | ◎ |
| リハビリテーション論 | 6コマ | 2 | | 12,000 | 5,000 | 1/30・31 | — |
| レクリエーション実技 | 12コマ | 2 | | 12,000 | 10,000 | 6/6～8 | — |
| 社会福祉援助技術演習A | 8コマ | 3 | | 18,000 | 10,000 | 6/27・28他 | — |
| 合計 | | | 90コマ以上選択 | 174,000円～ | 75,000円～ | | |

別途入学選考料10,000円＋入学金30,000円必要

合計 291,000円～

■「福祉実践職（障害者分野）基礎力養成」コースの概要

※「社会福祉援助技術総論」「社会福祉原論」のスクーリングを受講し、高齢者分野と障害者分野のコースの両方の履修証明を受ける場合、どちらか一方で利用可、もう1つの履修証明を受ける場合、他の科目で90コマ以上にしてください。

| 授業科目の名称 | コマ数 | 単位数 | 履修方法 (90コマ以上選択) | 科目等 履修生 授業料 | スクー リング 受講料 | 仙台スクー リング日程 | オンデマン ド・スクー リング | |
|--------------------------|------|-----|------------------------------|--|-------------------|----------------|-----------------------|---|
| 障害者福祉論 | 12コマ | 4 | 36コマ必修※ | 24,000 | 10,000 | 8/21~23 | ◎ | |
| ※社会福祉援助技術総論 | 12コマ | 4 | | 24,000 | 10,000 | 5/2~4他 | ◎ | |
| ※社会福祉原論（職業指導を含む） | 12コマ | 4 | | 24,000 | 10,000 | 8/8~10 | ◎ | |
| 知的障害者福祉論 | 6コマ | 2 | 〈選択A〉 58コマ中30コマ以上 選択必修 | 12,000 | 5,000 | 7/25・26 | — | |
| 就労支援サービス論 | 8コマ | 1 | | 6,000 | 7,000 | 12/12・13 | ◎ | |
| 障害児の心理 | 12コマ | 4 | | 24,000 | 10,000 | 9/19~21 | ◎ | |
| 発達障害者の地域支援 | 8コマ | 1 | | 6,000 | 7,000 | — | ◎ | |
| 精神保健福祉の理論 | 6コマ | 2 | | 12,000 | 5,000 | 4/25・26 | ◎ | |
| 精神保健福祉のサービス | 6コマ | 2 | | 12,000 | 5,000 | 8/2b・3 | ◎ | |
| 精神保健福祉援助技術総論Ⅰ | 6コマ | 2 | | 12,000 | 5,000 | 4/18・19 | — | |
| 精神保健福祉援助技術総論Ⅱ | 6コマ | 2 | | 12,000 | 5,000 | 8/1・2a | — | |
| 社会福祉援助技術論A | 6コマ | 2 | | 〈選択B〉 24コマ以上選択 (ただし選択Aで31コマ以上履修 した場合は、その分減らして可) | 12,000 | 5,000 | 8/1・2 | ◎ |
| 福祉法学 | 6コマ | 2 | | | 12,000 | 5,000 | 9/21・22 | ◎ |
| 公的扶助論 | 6コマ | 2 | 12,000 | | 5,000 | 4/25・26 | ◎ | |
| 発達障害教育総論 | 6コマ | 2 | 12,000 | | 5,000 | 10/3・4 | — | |
| 精神保健福祉の制度 | 6コマ | 2 | 12,000 | | 5,000 | 11/7・8 | ◎ | |
| 精神保健福祉援助技術各論 | 6コマ | 2 | 12,000 | | 5,000 | 5/23・24 | — | |
| 精神科リハビリテーション学 | 12コマ | 4 | 24,000 | | 10,000 | H28 3/19~21 | — | |
| 特講・社会福祉学18（生活困窮者自立支援の実際） | 8コマ | 1 | 6,000 | | 7,000 | 未定 | — | |
| 合計 | | | 90コマ以上選択 | 174,000円~ | 75,000円~ | | | |

別途入学選考料10,000円+入学金30,000円必要

合計 291,000円~

■「カウンセリングの基礎を学ぶ」コースの概要

| 授業科目の名称 | コマ数 | 単位数 | 履修方法 (90コマ以上選択) | 科目等 履修生 授業料 | スクー リング 受講料 | 仙台 スクー リング 日程 | オンデマン ド・スクー リング |
|-----------------------------|------|-----|--------------------|-------------------|-------------------|------------------------|-----------------------|
| カウンセリングⅠ | 8コマ | 1 | 8コマ必修 | 6,000円 | 7,000円 | 7/11・12 | — |
| カウンセリングⅡ | 8コマ | 1 | 8コマ必修 | 6,000円 | 7,000円 | H28 2/13・14 | — |
| 心理学概論 | 12コマ | 4 | 36コマ以上 選択 | 24,000円 | 10,000円 | 10/10~12 | ◎ |
| 臨床心理学 | 12コマ | 4 | | 24,000円 | 10,000円 | 5/4~6 | — |
| 人格心理学 | 12コマ | 4 | | 24,000円 | 10,000円 | — | ◎ |
| 福祉心理学 | 6コマ | 2 | | 12,000円 | 5,000円 | 6/13・14他 | ◎ |
| 心理アセスメント | 6コマ | 2 | | 12,000円 | 5,000円 | 12/19・20 | ◎ |
| 産業カウンセリングⅠ | 8コマ | 1 | 40コマ以上 選択 | 6,000円 | 7,000円 | 9/5・6 | — |
| カウンセリング演習Ⅰ | 8コマ | 1 | | 6,000円 | 7,000円 | 12/5・6 | — |
| カウンセリング演習Ⅱ | 8コマ | 1 | | 6,000円 | 7,000円 | H28 3/12・13 | — |
| 特講・福祉心理学4 (スクール・カウンセリング) | 8コマ | 1 | | 6,000円 | 7,000円 | H28開講予定 | 予定 |
| 特講・福祉心理学8 (ストレスとつきあう心理学) | 8コマ | 1 | | 6,000円 | 7,000円 | 8/1・2 | — |
| 特講・福祉心理学9 (コミュニティ心理学) | 8コマ | 1 | | 6,000円 | 7,000円 | — | ◎ |
| 合計 | | | 90コマ以上選択 | 114,000円~ | 79,000円~ | | |

別途入学選考料10,000円+入学金30,000円必要

合計 233,000円~

■**受講期間** 平成27年4月～平成28年3月（平成28年4月以降に継続する場合は、規定の学費がさらに必要になります。また、平成28年以降も継続予定ですが、現時点では未定です）

■**学 費** 科目選択によって学費が異なってきます。授業料とスクーリング受講料がかかります。

（科目等履修生として入学する場合）入学選考料10,000円 入学金30,000円
学費（1年間分の授業料）114,000円～ スクーリング受講料 75,000円～
合計 233,000円～

（正科生3年次編入学として入学する場合） 入学選考料10,000円 入学金30,000円
学費（1年間分の授業料）120,000円 スクーリング受講料 75,000円～
合計 235,000円～

■**出願書類**

（科目等履修生として入学する場合）本要項 p.37参照（履修登録用紙は巻末の「様式16」を使用）
（正科生として入学する場合）本要項 p.27, 34参照

■**履修証明発行までの流れ**

- (1) 履修方法に記載のルールに従って科目を履修登録する（科目等履修生：入学時10単位以上履修登録が必要〔ただし、通信教育部正科生からの再入学者は不要〕、正科生：入学後）
- (2) 履修登録科目のスクーリング受講（欠席・遅刻不可）およびスクーリング試験の合格
- (3) 必修科目・選択科目の必要時間数（90コマ以上）のスクーリングを受講し合格する
- (4) 本学通信教育部に「各種証明書申込書」を使用し、手数料300円とともに送付する（注：修了後、「カウンセリングの基礎を学ぶコース（東北福祉大学 履修証明プログラム）修了」などと履歴書に記載できますが、履修証明書の発行を希望する場合は手数料300円がかかります）

■**授業科目の内容**

27年度のスクーリング講義概要は、3月中旬以降にお問い合わせください。参考までに、26年度のスクーリング講義概要は、通信教育部ホームページ『試験・スクーリング 情報ブック2014』欄などから閲覧可能です。

■**履修登録上の注意**

- (1) スクーリング開講予定日にスクーリングに出席できることを前提に、出願・履修登録をお願いいたします。仙台以外の会場のスクーリング受講も可能です。なお、オンデマンド・スクーリング欄に◎のある科目については、オンデマンド・スクーリングの受講でも可能です。
- (2) 一度履修登録した科目については、スクーリング開講予定日に出席できなかった場合でも授業料部分の返金はできません（ただし、教員または本学のやむをえない事情により、スクーリングの開講日が変更になった場合を除きます）。スクーリング受講料の部分は、事前に欠席連絡をいただいた場合に限り、手数料1,000円を差し引いて、返金が可能です。
- (3) この履修プログラムのコースとして入学された方は、4月生・科目等履修生でも3月のスクーリングが受講可能です。
- (4) 履修登録した科目も、入学後別途スクーリングのお申込みが必要になります。
- (5) 履修登録していない科目はスクーリングの受講ができません。入学後、6月・11月の規定の時期に追加履修登録が可能です。ただし、6月の追加履修登録では8月以降、11月の追加履修登録では1月以降のスクーリングの申込みが可能となります。また、7月までのスクーリングを受講する場合は、入学時に必ずその科目を履修登録しておくことが必要です。

■**その他**

- (1) すでに本学にて本プログラム対象科目のスクーリングに合格している方は、不足科目のスクーリング受講にて本プログラムの履修証明書の発行が可能です（27年度以降に1科目でもスクーリング受講の場合に限ります）。
- (2) 本プログラムについてはスクーリング出席（欠席・遅刻不可）とスクーリング試験の合格をもって修了証明発行の申込みをいただければ修了証明をいたします。もし、その科目の単位修得までを希望する場合は、スクーリング受講・合格だけでは単位修得できず、その科目の履修方法（p.3参照）によりレポート提出・合格が必要になる科目が大半です。

スクーリング・アンケートから（1）

スクーリングでは、どのようなことを学ぶのでしょうか。ここでは、スクーリングを受講した学生の方々にお書きいただいたアンケートから社会福祉学系の講義の感想を抜粋してみました。

●福祉心理学 渡部純夫教授

・非社会的生きがいについて学び、とても新鮮でした。日ごろのソーシャルワーク活動の中でも、その生きがいがあるのか理解することが、その人そのものの理解につながるのだろうと感じました。

●福祉社会学 赤塚俊治教授

・自分の身の周りに起きていることを色々な視点から見ることだと感じるとともに、自ら世の中で起きていることに関心を持つこと、物事の裏に潜む問題にも目を向けることが重要であることを学びました。
・人との関わりの中で社会がかたち作られていくということを、先生の熱い講義の中で強く学び取ることができたと感じます。

●社会保障論 阿部裕二教授

・木を見るだけでなく、森を見て考えることの大切さを学びました。制度別に見るだけでなく、それぞれの制度は密接に関わりあっていること、そのbetterな内容は？などという考え方が学べたところがとても勉強になりました。

●社会福祉原論 田中治和教授

・社会福祉への考え方だけでなく、言葉の受け取り方、まとめ方、ものの見方、考え方を示してくださる貴重な授業でした。私自身の社会福祉観を、先生の講義を通しながら深めていきたいと思います。

●地域福祉論 柴田邦昭講師ほか

・震災後、地域の関わり的重要性について強く感じるようになりました。どの福祉分野でも、そこに地域が結びついたとき、人々は本当の意味でのノーマライゼーションを実現し、質の高いQOLの実現となるのではないかと講義を通して考えました。

●社会福祉援助技術総論 佐藤博彦助教

・「専門知識・技術は自分のためではなく相手（利用者）のために身につけるもの」という言葉に意欲がわきました。

●高齢者福祉論 中里仁講師ほか

・高齢者特有の課題を認識することができてよかった。老後のさまざまな問題は個人的な範囲を超えて

社会全体の問題であり、我々一人一人が声をあげなければならぬと考えさせられた。

●介護概論 後藤美恵子講師

・ターミナル期の介護も含め、生きていてよかったと利用者に感じてもらえる、世界一の長寿国であると発信できる仕組みづくりが求められていると分かりました。また、支援の際下された自己決定が利用者の適切な判断の結果かどうか、真の自己決定なのか、もう一度考える必要があると強く感じます。

●児童・家庭福祉論 千葉喜久也講師

・先生の「自己の経験や体験は、福祉職を行うにあたっての全ての実践にはならない。プロとして事実を客観的に見つめる目が必要。」という言葉は、とても心に響いた。事実を客観的に見つめ、クライアント自らの持てる力を使って生きていけるよう、溺れず流されない、タフなソーシャルワーカーを目指していきたい。

●障害者福祉論 横山英史講師ほか

・講義で行われた「優生思想」と「社会防衛思想」について、自らの胸に問いかける作業は、印象深い経験でした。自らの障害者に関する考え方の本質を見つめる作業になり、気づきを得たと感じます。

●福祉法学・更生保護制度論 菅原好秀准教授

・社会は様々な価値観で成立していて、それを認め合うことが大切であることを学び、自分自身の価値観を人に押し付けていないか、自分を見直す良い機会になったように感じます。
・今の情報に溢れた社会の中で、よい距離感をもつての社会的関係を築いていくことの難しさ、そうした社会での法の役割の変化など、様々なことを考えさせられました。

●精神保健福祉のサービス 阿部正孝教授

・「当事者が主役」、「生活の中で生きるとは」の意味について丁寧にわかりやすく説明して下さり、心に染み入る内容でした。
・精神保健福祉のサービスに関する知識以外にも当事者をどのように支援するのかの深い意識や考え方、当事者や社会環境への見方へのヒントを数多く頂きました。

心理学系や幼保特例講座の科目の講義の感想を抜粋してみました。

●心理学概論 佐藤俊人准教授

- ・心理学は日常生活の中で幅広く応用されている事に改めて気が付かされました。今回の講義で心理学を身近に感じることができ、心理学を活用した人間理解の必要性と可能性を感じることができました。

●心理学実験Ⅰ・Ⅱ 中村修准教授ほか

- ・錯視について考えさせられました。日常生活の中にも、思いもよらなかった研究の糸口や、ヒントが隠されているのかなと感じておもしろかったです。

●臨床心理学 清水めぐみ講師ほか

- ・「クライアントが自分で考え、感じ、行動する」ということが援助の際に目指すものであるという事を改めて考えさせられました。
- ・心理アセスメントも、心理療法も、社会福祉における対人援助についても、クライアントとのラポール形成が何よりも大切であることを学びました。

●社会心理学 吉田綾乃准教授

- ・人は他者があるがままにではなく、見たいように見る「対人認知の歪み」が印象に残りました。
- ・まわりの他者からかなりの影響を受けて生活しているということがわかりました。

●生涯発達心理学 木村 進教授

- ・発達とは積み重ねで、日々の努力がその人（自分）の発達につながる。老年期を考えると中年期の過ごし方がいかに大切かが理解できた。

●心理アセスメント 渡部純夫教授

- ・異常を異常としてみるのではなく、異常を正常として捉える新しい視点を学び、考えさせられました。異常を正常としてみることであれば、いじめも減るかもしれないと感じます。

●認知心理学 西林克彦教授

- ・「わかったつもり」とは何か、「わかる」とはどういうことか分かりました。自分の人生はこれまで「わかったつもり」だらけだったということも実感しました。そして、答えは1つではなく、絶対的に「正しい」ものはないということ。これからの自分の可能性も色々あるといいなと思いました。

●教育心理学 白井秀明准教授

- ・相手の学びを引き出す時には、その前に相手をよく知り、どのようなヒントやきっかけを使えば、その学習が進むのかを段階を踏んで提供していく必要が

あると思いました。

●学習心理学 柴田理瑛講師

- ・学習とは良いことも悪いことも全て学習なのだということ。一度学習したことは良いことでも悪いことでも記憶に残り、なかなか消せないということが印象深かったです。
- ・学習していく、記憶に残すためにどのような働きかけが有効なのか考えさせられました。報酬のあり方やエピソード記憶の活用についても考えていきたいと思いました。

●老年心理学 吉川悠貴講師

- ・認知症の方との関わり方などとてもわかりやすくとても心に残りました。また、認知症についていろいろな誤解を解くことができました。

●カウンセリングⅠ 末富美貴講師

- ・カウンセリングとセラピーに明確な違いがあることを意識していなかったので、本講義で知ることができてよかったです。自分が何をを目指したいのか明確になりました。

●人的資源論 齋藤幹雄教授

- ・女性の社会進出や企業の欧米化など、働ける人の選択肢は広がっている中、選択肢が与えられない格差の存在も浮き彫りになっていると感じます。自分も含め、周囲の人たちの働くことに関する悩みについて考えさせられた講義でした。

●障害者教育総論 荒川圭介准教授

- ・「迷ったときは子どものことを最優先に考えればよい」という言葉が心に残った。

●相談支援（幼保特例講座科目）木村進教授

- ・先生の「一人一人の保護者といかに信頼関係を築けるか、そこからが支援」という言葉で初心に帰りました。日々仕事に追われていますが、いい仕事をしたいならいい先生になる、子どもに好かれる先生になるという気持ちで、また明日から頑張ります。

●乳児保育（幼保特例講座科目）富澤弥生准教授

- ・幼稚園にて幼児教育に関わってきて、「教育」を常に意識してきましたが、0歳児・1歳児は保育・福祉の面での配慮が非常に大きなウェイトを占めていることを改めて強く意識することができました。今後の自分の大きな課題です。大変勉強になる講義でした。

社会福祉士国家資格を取得した通信教育部卒業生からメッセージをいただきました。参考までにご覧ください。

●現在の職場などでいかしておられる声

- ▶人との関わりや支援の方法について学んだことを実践しています。各種制度や施策について知ることができ、知識や視野が広がったことであらゆる角度から物事を捉えることに繋がったと感じます。
(40代 男性)
- ▶入学前は高齢者福祉の仕事を始めただけで、認知症を持つ利用者のケアに悩み、自分なりの福祉観や介護観を持てるようになりたいと思ったことがきっかけで入学しました。学びの中で、様々な背景をもつ困難を抱えた人々が多くいる事に改めて気づかされ、年齢層や特定分野での支援ではなく、幅広い課題に対応できるような人材になりたいという思いが高まりました。通信教育部で勉強できたことは知識を得ただけでなく、自分の価値観や今後の生き方まで大きく変わることになった、大きな意味を持つ出来事でした。
(50代 女性)
- ▶私は高齢者施設でしか働いたことがなく、高齢者福祉の一部しかこれまで知りえませんでした。大学での学びを通し、様々な障害の世界や貧困の実態も知ることができ、学習をきっかけに自分でも多くの文献に触れる機会が増えました。知識が広がり、様々な社会的問題に対しても自分なりの問題意識をもつことが身についたと思います。
(40代 女性)

●転職した方の声

- ▶社会福祉士国家試験に一回で合格。現在は障害者福祉施設で正職員として従事しています。通信教育で学んだ内容ほとんどが、毎日の仕事に役立っています。東北福祉大通信教育部は内容はもちろんですが、スクーリングや科目修了試験も仙台だけでなく各地で、しかもスクーリングは土日祝日を中心に2～3日単位でやっているの、本人のやる気さえあれば、必ず卒業は可能だと思います。
(40代 女性)
- ▶社会福祉士資格取得後、救護施設へ転職しました。実務経験の少なさや年齢などで書類選考だけで不採用となったところもありましたが、採用となった事業所は通信教育部での学習の頑張り进行评估してくれました。転職は若くないと厳しいことも現実ですが、タイミングや縁もあるのであきらめず様々な場所や施設を探してみる事が大切だと感じます。
(40代 女性)
- ▶福祉勤務で現在勤務しており、来年度に就労支援施設の立ち上げを予定し、準備中です。実習、演習ほかすべてにおいて実践に直接活かすことのできる知識と技術を得られたと思います。業務で身につけていたことの見直しにもなり、福祉に必要な知識と技術の広さと深さを知ることができました。
(50代 女性)
- ▶社会福祉士資格取得後、福祉事務所でろうあ者相談員をしています。相談援助技術を学ぶ事も大切ですが、福祉行財政や福祉計画、権利擁護、子供から高齢者まで幅広く相談を受けるので、全てにおいて学習が役立ったと思います。
(30代 女性)
- ▶病院で医療ソーシャルワーカー（MSW）をしています。40代半ばで医療現場デビューは正直しんどかったですが、苦しくなる時思い出するのが、「社会福祉原論」のレポートです。じっくり自分の福祉観、目指すところを考え、その時確信した自分の熱意を呼び起こして原点に立ちかえています。
(40代 女性)

問 (社会福祉士取得者のみ) 在学中または卒業後に転職・就職されましたか

